

海外ビジネス情報



大連

大連企業訪問団が7年ぶりに富山を訪問

北陸銀行 国際部
大連駐在員事務所
金春梅

1. はじめに

2025年10月30日から11月1日にかけて、「富山ファン倶楽部*」の大連企業訪問団が富山を訪れました。前回の訪問は、日中友好条約締結40周年を記念し、2018年10月29日**に実施されましたので、7年ぶりの訪問でした。

今回の訪問では、「T-Messe2025（富山ものづくり総合見本市）」へ出展したほか、富山県庁への表敬訪問や、「ほくりく長城会」の講演会・交流会など、様々な交流活動を行いました。



大連訪問団のT-Messe出展ブース(筆者撮影)

*2004年、研修・留学・仕事等で富山県にゆかりのある中国人の方々の人的ネットワークを活かし、会員同士の親睦や、富山県と中国の相互発展のため、様々な交流活動に協力することを目的として設立された。2025年3月19日現在、会員数427名(うち遼寧省の会員367名(86%))。

**中国南方航空が、大連-富山便を週2便から週3便に増便した初日。

2. 大連訪問団セミナー&企業交流会

2025年10月31日、北陸銀行と富山ファン倶楽部大連分会の共催で、「大連訪問団セミナー&企業交流会」が開催されました。

(1) 大連訪問団セミナー

第一部のビジネスセミナーでは、まず北陸銀行国際部が『コロナ禍前後における日本企業の対中投資・経済状況の変化』について講演し、中国進出企業の特徴や事例の紹介を行いました。

続いて、富山ファン倶楽部世話人で訪問団団長の北京大成（大連）律師事務所劉同強弁護士より『最近の中国法律状況』をテーマに、最新の改正会社法や、国際取引の注意点などについて解説していただきました。



セミナーの様子(筆者撮影)

(2) 企業交流会

第二部の企業交流会では、訪問団がT-Messe出展用に作成した企業紹介パンフレットを活用し、日本側参加者と名刺交換や情報交換を積極的に行っていました。今回訪問団に参加した大連企業は、金属部品製造、金型製造、寝具・介護用品製造、プラント設備製造など、製造分野が中心でした。交流会は終始活気にあふれ、今後のビジネスのきっかけづくりの場となりました。



企業交流会の様子(筆者撮影)

4. おわりに

大連訪問団団長の劉同強弁護士は、富山県庁訪問の際、「富山ファン倶楽部の会員たちは、富山に対し常に感謝の気持ちを持っています。今回大連企業団と一緒にT-Messeに出展し、富山をより多くの人々にPRして、富山へ恩返しをしたい」と話しました。富山ファン倶楽部のネットワークが今後、当行お取引先と中国企業のマッチングやビジネス情報収集の際の助けになることを期待しています。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp